

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公開番号】特開 2006-176597 (P2006-176597A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 6 日 (2006.7.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-026
 【出願番号】特願 2004-369878 (P2004-369878)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 77/06 (2006.01)

C 0 8 K 5/29 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 77/06

C 0 8 K 5/29

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 3 日 (2007.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

また、脂肪族または脂環式カルボジイミド (B) のうち、ポリカルボジイミドの具体例としては、種々の方法で製造したものを使用することができるが、基本的には従来のポリカルボジイミドの製造方法 (米国特許第 2 9 4 1 9 5 6 号明細書や特公昭 4 7 - 3 3 2 7 9 号公報、J . O r g . C h e m . 2 8、2 0 6 9 - 2 0 7 5 (1 9 6 3)、C h e m i c a l R e v i e w s 1 9 8 1 , V o l . 8 1 N o . 4 p 6 1 9 - 6 2 1) により製造したものをを用いることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

< 耐 L L C 性試験 >

上述のように作製した試験片を、1 2 0 に加温した 5 0 % エチレングリコール水溶液に所定時間 (5 0 0、1 0 0 0、1 5 0 0、2 0 0 0 時間) 浸漬し、その後オートグラフ (株式会社島津製作所製) を使用して引張降伏強さを測定し、浸漬前の試験片の引張降伏強さに対する保持率 (引張り強度保持率) を求めて、耐 L L C 性の指標とした。引張り強度保持率 (上限 1 0 0 %) が高いほど耐 L L C 性が良好であることを意味する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

< ポリアミド樹脂 (A) >

P A 9 T ; テレフタル酸単位と、1 , 9 - ノナンジアミン単位および 2 - メチル - 1 , 8 - オクタンジアミン単位 (1 , 9 - ノナンジアミン単位 : 2 - メチル - 1 , 8 - オク

タンジアミン単位のモル比が60：40）とからなり、極限粘度〔 〕（濃硫酸中、30
で測定）が1.40 dl / g、融点が276 、末端封止率が90%以上（末端封止剤
：安息香酸）のポリアミド樹脂